平成23年度 実施計画作成・事務事業評価(事後評価)シート

実施計画

<u>1 基本事</u>項

L	巫孙尹尔												
	部等名	政策経営部		課等名	企画項) 策課	言	已入者名	名	小村有	別	内線	218
	事務事業名	島原天草長島	島連絡道路	整備促進事業	H	事業期	間	平成	23	年度	~ 平	成	年度
Ī	総合計画上の 位置付け	基本方針	安心・安全で快適な都市基盤が整った人と自然を大切にするまちづくり										
		施策	道路・交通ネットワーク・港湾の整備										
		細 施 策	交通ネットワークの整備										
根拠法令・条例、関連計画等													
	予算細々目々	<u></u>				4	1信台	款	項	目	細目		
	地域活性化事業	費(出水駅閘	運行補助	金)	01	02	01	06	03				
Г	·	-		-									

2 事務事業の目的(何のためにするのですか)

九州西岸の交通の要衝である九州新幹線出水駅の利用者の二次アクセスの充実を図るため、出水地域、天草地域が一体となってシャトルバスの運行を行う

3 事務事業の概要

H22年度の事業概要	H23年度の 事業概要・計画	H24年度の事業計画	H25年度の事業計画
・南国交通を事業主体とし、10月20日から出水駅と長島町蔵之元港間を結ぶシャトルバスを運行。赤字分を天草市で負担	・南国交通を事業主体とし、出水駅と長島町蔵之元港間を結ぶシャトルバスを運行。赤字分を、天草市、阿久根市、長島町、出水市で負担する。・ 負担割合は、天草市2/3、出水地域2市1町1/3、出水地域の負担割合は、当該市町の運行キロ割50%、人口割50%とする。	・天草市、阿久根市、長島町、出水市で構成する出水駅蔵之元港間シャトルバス利用促進協議会を事業主体とし出水駅と長島町蔵之元港間を結ぶシャトルバスを運行。 ・協議会の負担割合は、天町1/3、出水地域2市1町1/3、出水地域の負担割合は、当該市町の運行キロ割50%、人口割50%とする。	・天草市、阿久根市、長島町、出水市で構成する出水駅蔵之元港間シャトルバス利用促進協議会を事業主元とし出水駅と長島町蔵之と地がある。 ・協議会の負担割合は、天草市2/3、出水地域2市1町1/3、出水地域の負担割合は、当該市町の運行キロ割50%、人口割50%とす

4 事務事業の対象・手段・意図

対象(誰・何に対して行う事業ですか) 手段(対象に対してどのような活動を行うのですか)

市民・出水駅の利用者

出水駅と長島町蔵之元港間を結ぶシャトルバスを運行し、出水駅利用 者の二次アクセスの充実を図り、出水地域と天草地域の交流を活発に する。

意図 (活動により対象をどのような状態にしたいのですか)

- ・出水地域、天草地域が一体となって、本バスを利用しての観光の振興等を図ることにより、両地域間での交流が活発になり、両地域の活性化に資する。
- ・出水駅での乗降客の増につながることにより新幹線の停車本数の増加が期待され、住民の利便性の向上に資する。

事務事業評価(事後評価) 1<u>指標の推移</u>

区分	指	標	名	単位	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	最 年度	と終目標 目標値
活 動	D	運行本数	ζ	便	930 (6便×155日)	2,920 (8便×365日)	2,920 (8便×365日)	2,920 (8便×365日)		
指標										
成果	D	利用者数	ζ	人	862	3, 500	3, 850	3, 850		
指標										

l	標	(2)											
		×							構座開催回数				
_		×		•	施策•事	務事業0	り目的:	達成度を示す	す数値(ボラン	ノティア実施す	首数、渋滞緩	和率な	ど)
2		割			1 6 37 9	· A Harr	2- >	• 1_ 2					
		,	成果指標		上させる								
			ない	埋出	l の10月	20日か	らの運	運行が開始さ	れており周知	が徹底してい	ないところも	あり、	今後、周知
	有		ある	が凶	りれると	利用者の	増加の	可能性はある	る。8月に出か	く駅蔵之元港間	引シャトルバン	ス利用化	足進協議会
3	効	F		設立	た場合の	い影郷け	ありょ	ナか					
	性			 ⊞ .⊥.		が音は	(y) (y) (x)	. 9 1/3					
		╚	ある			線開業に	:伴う二	次アクセス	として運行し	ており、新幹	線利用者が不	・便にな	:る。また、
			ない						加えて、出水				
ľ		,	成果指標	景を下	げずにコ	スト削	減の余	地はないで	·すか				
			ない	理由	1								
		H	1						もあり、今後				
			ある						8月に出水駅蔵		ァトルバス利力	井促進[荔議会設立
	効	-				の可能	性はな	いですか(市以外の取締	組含む)			
	率		ない	理由		77 1. 7 A	\ 	7 8 6 6 6 1 1 1 1 1 1)	# 1. → VILOO . z		» = 1	・。イルテル・3
	性	\Box	ある						が、出水駅と) の統合は難し		短時間で結ぶ	، تے کے اور	'の利便性か
		H		,					負担がある		てください	1)	
		_		THI H		り口(よ女)	<u> </u>	77 (文型1)	見担がのる	勿口(ヒュロノく)(/ (\ /L@V)	
		▝	はい			応じて運	賃(小	、人半額)を	設定している。	130円~	1,000円](出水	、駅蔵之元港
利用区間に応じて運賃(小人半額)を設定している。130円~1,000円(出た) いいえ 間)で運賃は妥当と思われる。													
İ	7	,	他の市町	「村で	は、実施	直してい	る事業	ですか					
	その												
	他	新	幹線関係	そのシ	ヤトルバ	「スは、」	鹿児島	,中央駅~鹿	屋方面が運行	行されている	5 。		
إ		Ļ	St. op =		:L →L:	}	. ,	VL 37 /m\					
3					生、改造			<i>次評価)</i>	山 과主安原	<u>~</u>			
ŀ		71	をり 月 円	1生 (市	総合評価)		万円住の珪	由、改善案等	于			
			拡大	■刹	–	□ 改善	11.7		二次アクセス				
			統合・絲	宿小	□ 廃⊥	上・休止	地	域の交流促進	による両地域	【の活性化をは	図るため継続。	とする。	
1		É	後の力	方向性	生、改造	善案等	(_;	次評価)					
					総合評価			方向性の理	由、改善案等	· ·			
			拡大	■ 刹	迷続	□ 改善			5) - 40VA+ 1 1 =				
			統合・絲			上・休止	— ;	火評価と同様	に継続とする	0 0			

一今後の方向性、改善案等(最終評価)
今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
□ 拡大 ■ 継続 □ 改善 □ 統合・縮小 □ 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。